

道徳だより

ひだまり



川北町立中島小学校

平成29年度

第3号 7月19日

夏休みまであとわずか・・・子どもたちはあせびっしょりになりながら、1学期のまとめの学習に元気いっぱいがんばっています。

今回のひだまりは、道徳の資料を使った6月の親子読書(お忙しい中、本当にご協力ありがとうございました。)の感想紹介と4年生の道徳授業のようすをお伝えします。

<保護者の方の感想>

◆ 1年生 ◆ 「およげないりすさん」

なかまはずれにされたリスさんの嫌な気持ちを考えました。自分もされたら嫌だなー。でも最後みんなが声をかけてくれてうれしかった。一人で遊ぶより、みんなで遊ぶ方が楽しい!!お友達の気持ちを考えてみようね、とお話できました。

◆ 2年生 ◆ 「森のゆうびん屋さん」

くまさんのように人のために何かをしてあげて「ありがとう」と言われるとうれしくなり、「またがんばろう!」って気持ちになるね。と子どもと話をしました。感謝の気持ちを相手に伝えるだけでお互いが気持ちよく過ごせますね。

◆ 3年生 ◆ 「雨のバス停留所で」

久しぶりに親子で、みんなが守らなくてはならないきまりや、生きていく上で守っていききたい大切なことまで深く話す良い機会になりました。

◆ 4年生 ◆ 「ヒキガエルとロバ」

〇〇におすすめを聞くと、このお話と言うことだったので読んでみました。とても深い内容で考えさせられました。自分はこのロバのような行動ができているかな・・・と考えた時に、どうしても自分優先になっているような気がして、はずかしいです。

◆ 5年生 ◆ 「その思いをうけついで」

このお話を読んで、娘は生きている間の限りある時間を大事にすることの大切さを知ったようです。おじいちゃんが具合が悪い中でも大ちゃんのことを思い、手紙を書いた深い愛情、大ちゃんが毎日おじいちゃんの所にお見舞いに行った気持ち、思いやり、何よりも大切なことだと思います。

◆ 6年生 ◆ 「夢に向かって確かな一歩を」 「自ら可能性を捨てない」

学校の授業でも読んだこの内容を、お母さんにも知ってほしかったと言って読んでくれました。どんなことがあってもやり続ける大切さ。実際小学1年生から始めたそろばんを何度かやめる危機があったけれども、今もやめずに目標を持ってあきらめずに頑張っています。自分と重ね合わせ、気づかされたようです。「小学校卒業するまでは頑張るよ。」と誓ってくれました。



どれどれ!!

平成29(2017)年6月23日(月)

川北町立中島小学校 4年 山田級 学級通信No.53

考える道徳…今回は!?

6月20日 第11回 少だけなら

自分 ^{⑤考える}

少だけなら…
少だけなら…
少だけなら…

見ないがまん
大人に相談
自分で注意
考える
先を叱
つぎ人おうえん心を
つる
使わない
約束を守る

「少だけなら」といふ心に負けないために大切なこと何だろう?

「少だけなら」「一回だけなら」「もう少しだけ」…情報機器(ゲーム機も)の誘惑に負けたり、負けそうになったりすることはだれにでもあることかもしれません。そんな心に負けないために大切なこととは…? 第11回道徳のテーマは、情報モラルにおける「節度・節制」です。



当日は、他校の先生を含め、20名近くの先生方が4年生の道徳授業を参観しに来られました。授業における深い学びはもちろんのこと、学級の雰囲気の高さも高く評価していただきました。